

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2024年6月27日

愛知県知事殿

提出者

住所 豊田市大林町1-81

氏名 トヨタすまいるライフ(株)

代表取締役 伊藤 憲行

電話番号0565-24-1295

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	トヨタすまいるライフ(株)
事業場の所在地	豊田市大林町1-81
計画期間	2024年4月1日～2025年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	06:総合建設業
②事業の規模	2023年度 売上高:317億円
③従業員数	1531人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<p>戸建住宅の新築、解体、修繕、模様替え工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 廃プラ→再生処理業者へ委託してRPF燃料化 ・ 木くず→再生処理業者へ委託してチップ化 ・ 石膏ボード→製造メーカーへ委託して再原料化、再生処理業者へ委託して地盤補強材、段ボール原料へ再資源化 ・ 紙くず→再生処理業者へ委託して再原料化

(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

建設部長 (監査責任者)

建設総括室主幹 (産業廃棄物対応責任者)

品質G (廃棄物管理担当者)

建設部—すまいるサポート部—ライフサービス部—シニアライフ事業部—総務部

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度 (R5年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	木くず
	排 出 量	265.5 t	180.2 t
	(これまでに実施した取組) 新築現場 廃プラスチック：再利用の出来る床養生材の採用 木くず：木製部材固定木を鉄製に変更		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	木くず
	排 出 量	238 t	162 t
	(今後実施する予定の取組) これまでの取組の継続実施		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 新築現場:廃プラ、木くず、紙くず、石膏ボード、陶磁器くず、混合 (分別小袋を使用) の6分別
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 各現場に分別基準表を掲示して分別小袋の分別を推進

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（R5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	木くず
	全処理委託量	265.5 t	182.0 t
	優良認定処理業者への処理委託量	209.6 t	132.8 t
	再生利用業者への処理委託量	245 t	182.0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	245 t	160.8 t
	(これまでに実施した取組) 廃プラ：シール材と固形プラの分別を行い、中間処分場で選別、 破碎処理後、RPF化施設で燃料化 木くず：分別回収を行い、中間処分場で破碎処理後、チップ化、 燃料、原料として再資源化		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	木くず
	全処理委託量	243 t	162 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	191 t	118 t
	再生利用業者への 処理委託量	224 t	162 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	224 t	145 t
	(今後実施する予定の取組) 現状の取組を維持		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の処理の委託に関する事項（別紙）

【前年度（R5年度）実績】			
産業廃棄物の種類	紙くず	ガラス陶磁器くず	
① 現状	全処理委託量	228.3 t	135.5 t
	優良認定処理業者への処理委託量	173.1 t	101.0 t
	再生利用業者への処理委託量	228.3 t	50.1 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
<p>（これまでに実施した取組）</p> <p>紙くず：現場で分別した紙くずを産廃処理業者で回収。古紙業者に出荷してリサイクル処理</p> <p>ガラス陶磁器くず：現場で分別した陶磁器くずを中間処分場で選別セメント製造メーカーの原料としてリサイクル</p>			
【目標】			
産業廃棄物の種類	紙くず	ガラス陶磁器くず	
② 計画	全処理委託量	205 t	121 t
	優良認定処理業者への処理委託量	155 t	90 t
	再生利用業者への処理委託量	127 t	45 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
<p>（今後実施する予定の取組）</p> <p>現状の活動委を維持</p>			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項（別紙）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項（別紙）			
① 現状	【前年度（R5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	石膏ボード	アスファルト・コンクリート
	全処理委託量	172.2 t	116.4 t
	優良認定処理業者への処理委託量	126.4 t	16.4 t
	再生利用業者への処理委託量	172.2 t	116.4 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） 石膏ボード：現場で分別した石膏ボードを産廃処理業者で回収、製造メーカーへ出荷して再原料化 アスファルト・コンクリート：現場で分別したアスコンを建設副産物としてアスコンメーカーでリサイクル		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	石膏ボード	アスファルト・コンクリート
	全処理委託量	154 t	104 t
	優良認定処理業者への処理委託量	112 t	14 t
	再生利用業者への処理委託量	154 t	104 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） 現状の取組を維持		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 (別紙)			
① 現状	【前年度 (R5年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	瓦礫類	建設混合廃棄物
	全処理委託量	132.0 t	98.8 t
	優良認定処理業者への処理委託量	81.7 t	62.4 t
	再生利用業者への処理委託量	120.3 t	45.0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	41.9 t
	(これまでに実施した取組) 瓦礫類：現場発生した瓦礫類を中間処分場で選別、破碎路盤材にリサイクル 建設混合廃棄物：現場で小袋で分別した混合状態の産廃を中間処分場でプラ、紙、金属等に品目毎に選別を行い再資源化してリサイクル		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器くず	建設混合廃棄物
	全処理委託量	122 t	89 t
	優良認定処理業者への処理委託量	91 t	55 t
	再生利用業者への処理委託量	45 t	40 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	37 t
	(今後実施する予定の取組) 現状の取組を維持		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項（別紙）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項（別紙）			
① 現状	【前年度（R5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	汚泥
	全処理委託量	42.0 t	29.9 t
	優良認定処理業者への処理委託量	38.5 t	29.9 t
	再生利用業者への処理委託量	42.0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） 金属くず：現場で分別した金属を2次中間処分場で破砕、圧縮して製鉄メーカーでリサイクル 汚泥：現場で発生した汚泥を中間処分場で混錬、乾燥後管理型埋立処分場で埋立処理		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	金属クズ	汚泥
	全処理委託量	37 t	27 t
	優良認定処理業者への処理委託量	33 t	27 t
	再生利用業者への処理委託量	37 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） 現状の取組を維持		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項（別紙）

① 現状	【前年度（R5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	繊維くず	石綿含有産業廃棄物
	全処理委託量	0.06 t	4 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.06 t	4 t
	再生利用業者への処理委託量	0.06 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.06 t	0 t
	（これまでに実施した取組） 繊維くず：解体工事で発生した古畳を中間処分場でRPF燃料化 解体工事現場で発生した石綿含有産業廃棄物を安定型埋立処分場で埋立		

② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	繊維くず	石綿含有産業廃棄物
	全処理委託量	0.05 t	3 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.05 t	3 t
	再生利用業者への処理委託量	0.05 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.05 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） 現状の取組を維持		

